

(様式 17)

学位論文審査の概要

博士の専攻分野の名称 博士 (医 学) 氏名 佐々木 幸子

主査 教授 佐藤 典宏
審査担当者 副査 教授 玉腰 暁子
副査 教授 大滝 純司
副査 教授 荒戸 照世

学 位 論 文 題 名

日本人労働者における短時間睡眠および不眠が慢性腎臓病発症に及ぼす影響について
(Short sleep duration and insomnia increase the risk of chronic kidney disease
in Japanese workers)

申請者は労働者を対象とした前向きコホート研究において、短時間睡眠および不眠が慢性腎臓病 (chronic kidney disease: CKD) 発症に及ぼす影響について、ならびに短時間睡眠および不眠と CKD 発症の関連に対する交代勤務の影響について疫学的に検討した。この研究において、不眠症状の一つである中途覚醒は CKD 発症リスクを有意に上昇させることが示された。また、交代勤務者においては 5 時間以下の短時間睡眠および不眠症状の一つである入眠困難による CKD 発症リスク上昇が認められ、睡眠と CKD 発症の関連に対し交代勤務が修飾効果を持つことが示唆された。

これらの結果に対し、審査担当者からは蛋白尿の出現を含めたより進行した腎機能低下を評価するべきではないか、交代勤務者に対する睡眠習慣の是正方法とはどのようなものか、日本人の睡眠時間が減少している理由として何が考えられるか、研究結果の外的妥当性についてどのように考えるか、不眠症状のうち中途覚醒と入眠困難においてのみリスク上昇がみられたのはなぜか、不眠に対する薬剤や精神疾患の影響を考慮したか、年一回の健診データを用いた CKD の定義は妥当であるか、この研究において申請者の果たした役割と今後の研究の展望について、といった内容の質問や意見が出された。申請者はこれらの質問に概ね妥当に返答し、また指摘を受けた内容については今後の課題として前向きに検討する姿勢を示した。

本学位論文の一部は英文学術雑誌に既に掲載されており、修正可能な生活習慣要因である睡眠が CKD 発症に関与する可能性を示唆するものとして高く評価されている。

審査員一同はこれらの成果を高く評価し、大学院課程における研鑽や取得単位なども併せ、申請者が博士 (医学) の学位を受けるのに十分な資格を有するものと判定した。